

東京工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	英米文化論 (教養ゼミⅠ)	
科目基礎情報							
科目番号	0152		科目区分		一般 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		履修単位: 1		
開設学科	電子工学科		対象学年		4		
開設期	後期		週時間数		2		
教科書/教材	Bram Stoker, Dracula (Young Adult ELI Readers, Eli Readers)						
担当教員	櫻村 真由						
到達目標							
1. 今までの英語学習で培った英語力を用いて、Bram Stoker原作のDraculaのretold版を読み、内容を理解し、まとめることができる。 2. 授業内で扱われる19、20世紀イギリス文化について、知識や情報を得て、整理し、まとめることができる。 3. 授業で学習したイギリス文学・文化を元に、グループでテーマ設定を行ったのち、リサーチ等を行い、その成果を発表することができる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		Stoker原作のDraculaのretold版を読み、内容を正しく理解し、正確にまとめることができる。		Stoker原作のDraculaのretold版を読み、内容を理解し、まとめることができる。		Stoker原作のDraculaのretold版を読み、内容を正しく理解できず、まとめることができない。	
評価項目2		19、20世紀イギリス文化について、知識や情報を得て、上手に整理し、正確にまとめることができる。		19、20世紀イギリス文化について、知識や情報を得て、整理し、まとめることができる。		19、20世紀イギリス文化について、知識や情報を得て、整理することができず、まとめることができない。	
評価項目3		授業で学習したイギリス文学・文化を元に、グループでプロジェクトを行い、その成果を上手に発表することができる。		授業で学習したイギリス文学・文化を元に、グループでプロジェクトを行い、その成果を発表することができる。		授業で学習したイギリス文学・文化を元に、グループでプロジェクトを行えず、その成果を発表することができない。	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育目標 B2 学習・教育目標 B3							
教育方法等							
概要		本ゼミでは、ブラム・ストーカーのDracula (1897年)を原作とretold版の両方を使いながら読んでいく。その際、この小説の形式や作品がかかれた19後半、20世紀初頭の文学史や文化的背景を合わせて学習する。受講者は、Draculaの担当箇所や本ゼミのテーマと関連ある事項についての発表、クラスメートと共にプロジェクトを行う必要がある。そのほか、吸血鬼を扱った小説、漫画、アニメ、映画等の大衆文化についてもリサーチと発表を行ってもらう予定である。					
授業の進め方・方法		Retold版のDracula (Young Adult ELI Readers) を主に読み進めながら、背景知識となる19,20世紀のイギリス文学を含む当時の文化について学ぶ。教科書を読むにあたって、担当者を割り振り、担当者は発表において、担当箇所のあらすじ、登場人物、重要と思われるシーンや表現、担当教員が指定した原作の文章抜粋、吸血鬼を扱った大衆文化について発表を行う。作品が書かれた当時の時代背景を知るために、19、20世紀文化・文学に関するテーマについて、科目担当者の指導のもと、受講者自身が文献等を使って調査し、調査の成果をクラス内で発表するかたちで共有する。その他、授業で扱った作品に関連したグループプロジェクトを行い、その成果を発表する。					
注意点		授業に必要な連絡はKingで連絡することがある。予習をしっかりと行い、発表に向けて準備をすること。受講者の状況等に応じて、授業内容を若干変更することがある。					
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	ガイダンス		本科目で学習する事項をシラバスを元に説明を受け、把握することができる。		
		2週	Chap. 1, 担当決め、プレゼンテーションについて		Draculaの内容を理解し、内容に関する問題で正解することができる。評価に関連する課題について内容を正しく把握できる。		
		3週	Chap. 1, イギリス文学と文化#1		Draculaの内容を理解し、内容に関する問題で正解することができる。作品の形式について知識を得て、それを整理することができる。		
		4週	Chap. 2, イギリス文学と文化 # 2		Draculaの内容を理解し、内容に関する問題で正解することができる。作者について知識を得て、それを整理することができる。		
		5週	プロジェクトに関するグループワーク 担当教員とのカンファレンス		グループプロジェクトの発表に向けて、テーマに沿った準備を進めることができる。		
		6週	Chap. 3,イギリス文学と文化 # 3		Draculaの内容を理解し、内容に関する問題で正解することができる。作品の背景にある文化に関する知識を得て、それを整理することができる。		
		7週	Chap. 4,イギリス文学と文化 # 4		Draculaの内容を理解し、内容に関する問題で正解することができる。作品の背景にある文化に関する知識を得て、それを整理することができる。		
		8週	特別講義		Draculaに登場する音響機材についてのレクチャーを受け、課題をこなすことができる。		
	4thQ	9週	Chap. 5,イギリス文学と文化 # 5		Draculaの内容を理解し、内容に関する問題で正解することができる。作品の背景にある文化に関する知識を得て、それを整理することができる。		
		10週	Chap. 6,7 イギリス文学と文化 # 6		Draculaの内容を理解し、内容に関する問題で正解することができる。作品の背景にある文化に関する知識を得て、それを整理することができる。		
		11週	プロジェクトに関するグループワーク 担当教員とのカンファレンス		グループプロジェクトの発表に向けて、発表準備を進めることができる。		
		12週	Chap. 8,イギリス文学と文化 # 7		Draculaの内容を理解し、内容に関する問題で正解することができる。作品の背景にある文化に関する知識を得て、それを整理することができる。		

		13週	プロジェクト成果発表	グループプロジェクトの成果を発表することができる。
		14週	プロジェクト成果発表	グループプロジェクトの成果を発表することができる。
		15週	まとめ	本科目で学習したことを概観し、今後の学習目標を立てることができる。
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	25	25	10	0	20	20	100
基礎的能力	15	10	10	0	10	5	50
専門的能力	5	5	0	0	5	5	20
分野横断的能力	5	10	0	0	5	10	30